

## (5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(    は上方に変更、    は下方に変更)

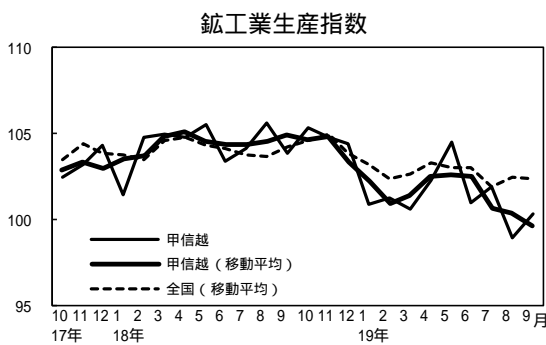
### 前回からの主要変更点

	前回 (令和元年8月)	今回 (令和元年11月)	
鉱工業生産	おおむね横ばい	弱含み	
雇用情勢	着実に改善	改善	

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでいる。

7 - 9月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
電子デバ、電気・情報通信	28.9	2.4	3.5	0.9	3.9	4.3
汎・生産・業務用機械	24.8	2.1	1.5	1.7	3.9	0.4
食料品・たばこ	12.0	1.2	-	0.1	1.4	-
石油・石炭、化学、プラ製品	10.3	0.9	3.4	4.3	0.8	2.9
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.8	1.0	1.8	2.2	4.4	2.9
鉱工業	100.0	1.7	2.2	0.9	2.9	1.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 7 - 9月期、9月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値、甲信越の最新月は速報値。

2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

3. 甲信越は内閣府にて算出。

## 2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

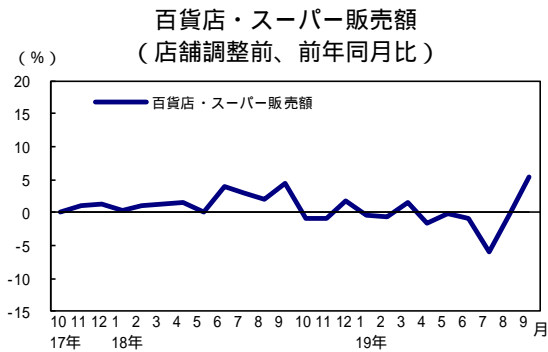
7月は前月比1.6%減、8月は同1.3%増、9月は同3.4%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

7月は、食料品、衣料品ともに低調であったことなどから、前年を下回った。

8月は、食料品、衣料品ともに堅調に推移したものの、前年を下回った。

9月は、衣料品、日用品などで動きがみられたことから、前年を上回った。



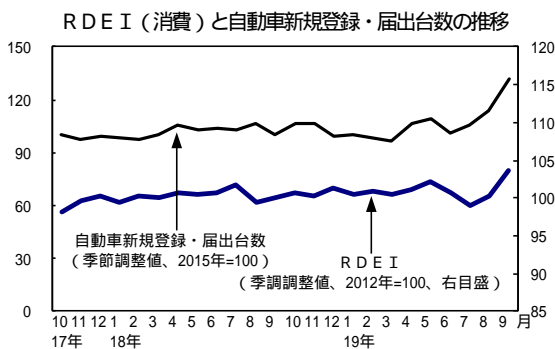
	2019年7-9月	2019年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.4	1.6	1.3	3.4
百貨店・スーパー(*2)	0.4	6.0	0.2	5.4
乗用車(*3)	15.2	3.6	5.8	32.4
(季節調整値)(*3)	11.0	4.4	8.2	15.5

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

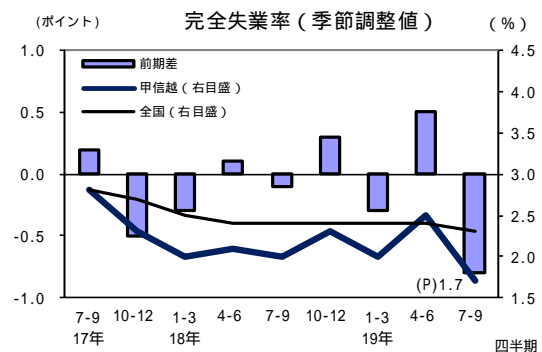
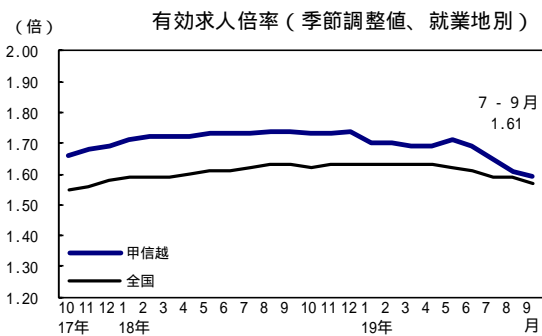
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。

2. 7-9月期の値は暫定値。